

平成19年度 学校評価 結果

平成19年度に実施致しました学校評価と、1月に保護者の皆様にお願ひしたアンケートの結果を一覧表に致しました。

保護者アンケートの評価基準は以下の通りです。

- 1 … 十分な取り組みがなされた(満足できる) 2 … 一応取り組まれていた(ある程度満足できる)
 3 … 取り組みは不十分である(あまり満足できない) 4 … 取り組みがなされていると思えない(満足できない) 5 … 判断できない

| 領域 | 目 標 | 評 価 項 目 | 達 成 目 標 と 達 成 度 判 断 基 準 (*は生徒アンケート結果) | 評 価 | 保 護 者 アンケート結果 |
|----------------------------|--|---|--|---|---|
| 生徒指導 | ①常識をわきまえ規範意識を持った品位ある生徒の育成 | 規則やマナーを守る自律的な態度の育成を図る。 | 生活違反をした生徒の延べ人数が50人以上100人未満であった。 | B | 1 … 56.1 % 2 … 37.4 % 3 … 4.6 % 4 … 0.6 % 5 … 1.3 % |
| | | 身だしなみに留意し、校内の美化に努める態度の育成を図る。 | *身だしなみをよく守れたと答えた生徒の割合が、80%以上であった。 *掃除や美化週間などを通して、個人的にも校内美化の意識が高かったと思う生徒の割合が、80%以上であった。 | A A | |
| | | 規律ある集団行動ができる態度を養うよう努める。 | *トリム・掃除・朝会・学年集会などを通して、積極的行動がとれた生徒の割合が、80%以上であった。 *この1年、部・クラブ活動に積極的に参加できた生徒の割合が、80%以上であった。 | A A | |
| | | 欠席・遅刻等の減少を図るなど基本的な生活習慣の確立に努める。 | 不注意遅刻をしなかった生徒の割合が、80%以上であった。 | A | |
| | ②正しい生活習慣の涵養 | 適正な言葉遣いときちんとした挨拶の徹底を図る。 | *あいさつ・言葉遣いに気をつけた生徒の割合が、50%以上65%未満であった。 | C | 1 … 48.4 % 2 … 43.1 % 3 … 7.2 % 4 … 0.1 % 5 … 1.2 % |
| | | 欠席遅刻等の減少を図る | 1カ年皆勤の生徒の割合が、50%以上60%未満であった。 | B | |
| | ③安全教育の充実 | 生徒の防犯意識及び安全対応能力の向上を図る。 | 自転車事故件数が、10件以上あった。 *不審者にたいする対処法を理解している生徒の割合が、80%以上であった。 | D A | 1 … 50.6 % 2 … 42.0 % 3 … 3.6 % 4 … 0.2 % 5 … 3.5 % |
| | | 災害等への適切な対応に関する訓練の充実を図る。 | *学校内の訓練に真剣に取り組めた生徒の割合が、80%以上であった。 地域防災に参加できた4年生の割合が、65%以上80%未満であった。 | A B | |
| | | ④自主的・自律的態度の育成 | クラスの一員としてホームルーム活動に積極的に取り組む態度を養う。 | 当番任務をしっかりと果たし、当番やり直しがなかった生徒の割合が、85%未満であった。 *HR展や音楽コンクールに積極的に取り組んだ生徒の割合が、90%以上であった。 | |
| | いじめのない、安心して生活できるクラスを作る。 | | *クラスにいじめがなく、規律があると感じている生徒の割合が、80%以上であった。 | A | |
| 生徒会活動、各種行事に積極的に参加する態度を養う。 | 役員経験率、参加率が60%未満であった。 | | D | | |
| 自己表現能力と他人の意見を傾聴する態度の育成を図る。 | *講堂朝会や学年集会での話をしっかりと聴けた生徒の割合が、80%以上であった。 | | A | | |
| 国際理解教育の充実や異文化との接触機会の増大を図る。 | *豪州研修の事前研究や現地での活動に積極的であった生徒の割合が、80%以上であった。 | | A | | |
| ⑤保護者との連携の強化 | 学年PTAや学級懇談会の内容・回数の適正化を図る。 | 学年PTA出席率が80%以上85%未満であった。 授業参観、学級懇談会への出席率が60%以上であった。 | B A | 1 … 43.9 % 2 … 42.4 % 3 … 10.0 % 4 … 2.1 % 5 … 1.6 % | |
| | 学年、学級通信を発行し学校生活の様子を伝える | 学年・学級通信を定期的に発行した学年・クラスの割合が、80%以上であった。 | A | | |
| | ⑥学習意欲の高揚と確かな学力の育成を図る | 個に応じたきめ細かな指導を行う | *習熟度別授業に対して、分かりやすいと感じた生徒の割合が、80%以上であった。 | | A |
| 授業の学習環境、雰囲気を整える | | *学習四原則を守れたと感じた生徒の割合が、65%以上80%未満であった。 *朝読書に静かに取り組めた生徒の割合が、65%以上80%未満であった。 | B B | | |
| 家庭学習の習慣を付ける指導を工夫する | | *家庭学習量の学年目標7割達成率が、50%以上70%未満であった。 | B | | |
| 質・量ともに適正な課題を与えるように努める | | 予習(復習)課題を必ず提示し、週末・長期休暇には適切な課題を与えたと判断した教員の割合が、80%以上であった。 | A | | |
| ⑦魅力と特色のある授業の展開 | レッスンシステムに基づく授業改善の推進を図る | *第2回授業アンケートで、生徒が「授業がわかりやすく、意欲的に興味を持って取り組めて学力が高まった」と答えた教科担当教員の割合が、50%以上65%未満であった。 | C | 1 … 25.4 % 2 … 49.1 % 3 … 13.5 % 4 … 1.6 % 5 … 10.2 % | |
| | 授業の質を高める | 公開授業月間を設定し、参考になったと答えた教員の割合が80%以上であった。 *学力が高まったと実感できると答えた生徒の割合が、70%以上80%未満であった。 | A B | | |
| | 教材の工夫、改善を図る | 教材の工夫をした教員の割合が、80%以上であった。 | A | | |
| ⑧広い視野と高い志の育成 | 計画的・体系的なキャリア教育を推進する | *外部講師・卒業生・上級生による講演会・座談会が、参考になったと答えた生徒の割合が、80%以上であった。 | A | 1 … 37.2 % 2 … 46.2 % 3 … 9.0 % 4 … 1.1 % 5 … 6.3 % | |
| | | *調べ学習を通して、知識が増えた・興味をもてたと答えた生徒の割合が、80%以上であった。 | A | | |
| ⑨進路志望達成のための指導の充実を図る | 講習会・学集会を実施して実力養成を図るとともに、丁寧な面接を通じた進路指導を実施する | *土曜講習・夏期講習・サテライト学習が、役に立ったと答えた生徒の割合が、80%以上であった。 | A | 1 … 39.5 % 2 … 36.8 % 3 … 8.3 % 4 … 1.8 % 5 … 13.6 % | |
| | | 個人・グループ面接4回以上実施して進路指導を行ったクラスの割合が90%以上であった。 | A | | |